

かつて北前船が行き交った加賀・越前の北陸海岸。今年是全国の愛好家が行き交う海道となる。



インカレショート 2001 で使用された地図「加賀海岸」の一部。学生選手権で等高線間隔 2.5m が使用された唯一のトレイン。

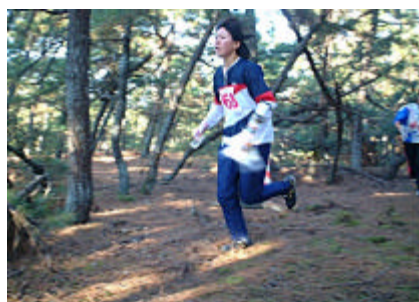
2007年10月6日(土)
東尋坊パーク0大会(福井県坂井市)
2007年10月7日(日)
全日本リレー大会(石川県加賀市)

全日本リレー故郷石川に戻る

2007年、全日本リレーが初めて石川県で開催される。いや「故郷・石川に戻る」という言い方がふさわしい。

平成3年(1991年)9月29日、石川県体にあわせて「全国都道府県対抗リレーオリエンテーリング大会」が石川県金沢市で開催された。この主旨に賛同し多くの都道府県がチームを組んで石川県に乗り込んだ。それまで個人レースだけだった全国大会に、都道府県対抗の枠組みを取り入れた試みは大当たり。すぐさまJOAはリレー大会を正式選手権大会として取り込むことを決定し、翌年から第一回全日本リレー大会が開催されるようになった。

あれから16年の時を経た今年、全日本リレー大会は生まれ故郷の石川へと帰るのだ。



平坦な松林が広がる加賀海岸のトレイン。通行可能度も良く、面白い。インカレショート 2001 優勝者・田島聖子

危機！加賀スーパートレイン

全日本リレーで使用される加賀海岸は平坦さと通行可能度の良さで北陸随一を誇る。

この貴重で広大な松林は国有林として、あらゆる開発から守られてきた。6年前の学生選手権で使用されたのは加賀海岸国有林の西半分だけだった。

だが近年、松食虫による森林被害が広がり、現在は森林再生事業として国有林の東半分が伐採され、植林が行われている真っ最中である。この植林ボランティアに石川県オリエンテーリング協会からも駆けつけていると聞く。

残念ながら拡張される予定だった加賀海岸国有林の東部は幻のトレインとなった。だが6年前に地図化された範囲は無傷の状態に砂防林が維持されている。全日本リレーで使用されるはずのこの範囲もいつまでこの素晴らしい状態が続くのか全く予想ができない。もしかしたら加賀海岸の素晴らしいトレインを走ることができるのも、これが最後になるかもしれないのだ。

前日は福井の名勝・東尋坊

日本海に飛び出した絶壁と灯台で古くから有名な観光地として知られる「東尋坊」。絶壁の上に広がるのは平坦で少し荒れた砂防林だが、中には通行可能度のよい部分がある。

このトレインは長い間オリエンテーリングに使用されていない。理由は近年の道路開発によりトレインが寸断されたためだ。狭くなってしまったトレインだが、パークオリエンテーリングなら広さ充分だ。

全日本リレーの前日に、この東尋坊にてJOA公認スプリントイベントが開催される。

この日のうちに行われる全日本リレーのモデルイベントに参加できるような開催スケジュールを目指す。会場横に駐車場を確保しマイカー移動はラクラク。表彰式も翌日の全日本リレー会場で行うことを検討している。

スーパーAの松林、小鳥のさえずり、潮風、青い海がアナタを待っている。

6年前、加賀海岸で行われた学生選手権と呼応して福井県で東日本大会が開催された。福井県での大型の地図作成はこの東日本大会が最後となった。

それ以降、福井県ではパークオリエンテーリングの地図作成とそれを使用した大会開催に活動の主力を移している。東尋坊パーク0大会は、この数年間にわたる福井の活動の成果を、全日本リレーに向けて訪れる愛好家の皆様にご披露しようという意欲の表れだ。

(木村佳司)

